

ボランティア事業 2019年度総括／2020年度計画

ボランティアコーディネーター

石川 澄子（なごみデイサービス）

金本 拓也（生活訓練つみき）

崎本 優子（こころの相談ネットふうが）

○2019年度活動方針に沿っての総括

【2019年度活動方針】

法人理念である「すべての人が尊敬される社会の実現」は、福祉サービスの充実や専門職による支援に加え、互いに支え合い・尊重し合う地域住民一人ひとりの意識、住民活動の育成＝ボランティア振興が重要であることを普遍的な基本方針とし、法人でボランティアを受け入れる意義、及び受け入れ体制等、ボランティアコーディネーションの基盤を再整理する。

① ボランティア担当者会議の充実

ボランティア募集や受け入れ、活動者のフォローアップ等、会議時に情報共有は行ってきたが、質疑や意見が出しやすい「高齢」「障がい」の分野別に小グループでのディスカッションを行い、より具体的に実践的な議論を深める手法を試行。

総括

○年間予定

	全体	グループ別テーマ		全体	グループ別テーマ
4月			10月	ボラ交流会振り返り	
5月	ボラ担運営・年間予定等	ボラ担って何？	11月		オリエンテーション法
6月		ボラ活動メニュー 募集内容のまとめ方	12月		振り返り法
7月	ボラ交流会企画	部署内での連携 受け入れ体制等	1月		ボラ育成・定着法
8月	ボラ交流会企画		2月	ボラ登録更新	
9月	ボラ交流会		3月	年度総括&計画	

上記のとおり年間予定を組んでいたが、ボランティアの受け入れ調整や交流会企画の検討等議事が多く、約1時間の会議内では各回にテーマ別ディスカッションを行うまでには至らなかった。そんな中でも、障がい等何らかの課題をもつボランティアの受け入れについてや、そもそもボランティアが来た時の荷物保管場所は？ どのこい券の使い途は？等、素朴な疑問から深いテーマまで、ボランティア担当者が抱える日頃の悩みや課題を共有し合う機会を持つことが出来た。

② ボランティア関係業務の分担

ボランティアコーディネーターが行うボランティア募集や受け入れの流れを理解し、ボランティア対応全体の質を向上させるため、ボランティア担当者会議の議事録作成、ボランティアだよりの広報誌

作成を各ボランティア担当者の持ち回りで分担することを提案。

総括

① 議事録作成 輪番制

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
じらふ	きすな	総セン オガリ	包括	障がい GH	るーぶ	COCO RO	特養 なごみ	であい	コロ たま	Vco

② ボランティアだより作成 輪番制

	6月号	7月号	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	1月号	2月号	3月号	4月号
担当 部署	ふうが	COCO RO	特養 なごみ	じらふ	であい	総セン オガリ	きすな	コロ たま	包括	るーぶ	障がい GH
募集 記事	7月 実施予定	8月 実施予定	9月 実施予定	10月 実施予定	11月 実施予定	12月 実施予定	1月 実施予定	2月 実施予定	3月 実施予定	4月 実施予定	5月 実施予定
原稿 〆切	5/20	6/20	7/20	8/20	9/20	10/20	11/20	12/20	1/20	2/20	3/20

年度開始当初に上記輪番制を提示。各部署の繁忙期に重なる場合の入れ替えや当番時の担当者欠席の交代等微調整は行うが、概ね予定どおり実施。全員が受け持ち分担することにより、自部署のみならず全体把握の意識と共有を図ることができた。また、ボランティアだよりの原稿〆切→掲載するボランティア募集→イベント等の実施時期という流れができ、行事企画の準備段階からボランティア募集を検討することにもつながった。

③ ボランティア情報発信の拡充

前年度未着手であった法人ホームページのボランティア窓口の改訂、及び facebook やインスタグラム等の SNS を活用した広報活動を開発するとともに、社会福祉実習指導担当者と連携し、新たな大学との関係構築や実習・就職等のガイダンスでも積極的に発信の機会を持つ。

総括

2018年度に製作した各部署ボランティア募集のPR動画は、大学でのボランティア募集やフィールドワーク説明会等での活用をはじめ、地元小学校の福祉教育プログラムやボランティア交流会で視聴する等に用いたが、日常的なボランティア募集やボランティア活動希望者の面談等で使用することはなかった。また、「大阪市市民活動総合ポータルサイト」を活用したボランティア募集は積極的に行ったが、当法人ホームページのボランティア窓口改訂は未着手のままに終わり、ボランティア交流会の参加者減少という課題に広報不足が上げられていたように、現時代に即応した情報発信力の弱さが否めない。

以上、2019年度の総括をふまえ、2020年度の活動方針を以下のように提案する。

【2020年度活動方針】

互いに支え合い・尊重し合う地域住民一人ひとりの意識醸成、住民活動の主体形成＝ボランティア振興を普遍的な基本方針に掲げた上で、その具現化のための実践であるボランティアとの協働・ボランティア受け入れを積極的に行うため、ボランティア担当者並びに各部署でのボランティアを受け入れる意義及び受け入れ体制等を確立し、法人全体での地域福祉の推進、資質向上をめざす。

① ボランティアコーディネーターの連携強化

これまでのボランティアコーディネーター3名体制や「高齢」「障がい」の専門分野対応を受け継ぎながらも、住吉総合福祉センターをボランティア窓口拠点とし、ボランティアの募集や活動希望者の対応、各部署へのボランティア紹介等、ボランティアコーディネーション業務の流れを一体化し、より円滑なボランティア受け入れを実施する。

② ボランティア受け入れの意識向上

1. ボランティア担当者会議の充実

ボランティアの受け入れ実績や募集等の報告事項は事前の書面提出で情報共有を図り、担当者が顔を合わせる会議の場では、ボランティア受け入れにあたっての募集やオリエンテーション、活動者へのフォローアップ等、資質向上につなげるための議論を充実させる。

2. ボランティア関係業務の分担

昨年度より実施したボランティア担当者会議の議事録作成、及びボランティアだよりの広報誌作成を各部署輪番制にし、ボランティア人材の共有や活動内容を把握するとともに、各部署横断的な社会資源の活用と法人全体でのボランティア受け入れ底上げを図る。

3. 部署全体でのボランティア受け入れ体制の確立

高齢・障がいの主任会議に提出する各部署報告資料の中に、各種イベント・行事でのボランティア募集の有無記載欄を設け、企画準備段階からボランティアの受け入れ有無を意識、検討し、主任及びボランティア担当者だけではなく部署全体でのボランティア受け入れを共有する。

③ ボランティア情報発信の拡充

未着手であった法人ホームページのボランティア窓口コンテンツの改訂をボランティア担当者会議で検討し、学生や地域住民等外部への情報発信を行う。また「大阪市市民活動総合ポータルサイト」や「関西人のためのボランティア活動情報ネット（KV ネット）」の活用をはじめ、社会福祉実習・ガイドヘルパー講座・就職ガイダンス等の場面やボランティア登録者同士のロコミネットワーク等、多様なツールの活用に努める。

【各部署からのボランティア受け入れ報告 2019年度総括&2020年度方針】

住吉エリア

【 特別養護老人ホームなごみ 】 担当者：森田 部署責任者：上村

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	3	5	9	10	21	5	5	7	10	6	5	3	89
活動者 (延数)	38	44	42	38	57	40	43	41	44	39	38	34	498

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

クラブ活動（毎水曜日）／調理ボランティア（毎日）／なごみ食堂（毎月）／ポーラハンドマッサージ（半年に一度）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

お米一座（三味線）／花結びの会（新舞踊）／ギター演奏

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

今年度も各種ボランティアさんのご協力を得て無事に終えることが出来ました。

毎日・毎週・毎月と予定して頂き有難い限りです。

○課題・成果等

次年度も各種ボランティアさんにご負担のないように活動して頂ければと願っています。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

気兼ねなくいつでも特養に来所頂き、入居者様と楽しい時間を過ごしながらパフォーマンス等して頂ければと思います。

【 なごみデイサービス 】 担当者：石川 部署責任者：門馬

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	4	7	8	4	10	10	10	9	10	10	5	5	92
活動者 (延数)	21	19	21	38	40	41	31	29	31	31	34	46	382

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

傾聴、活動レク補佐、洗い物等

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

踊り（日本舞踊・フラ・三味線・歌）

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

法人の理念にもとづいたボランティア活動を実践することができた

○課題・成果等

軽度の障がいを持ったボランティアの受け入れ活動の工夫、またやりがいにつながる工夫、ボランティアという社会資源の活動をどう活かしていくかが課題である

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

体に気を付けて長く続けてもらいたい

【 小規模多機能型居宅介護きずな 】 担当者：酒井 部署責任者：久米

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	1	1	3	4	3	2	6	4	54	12	1	0	91
活動者 (延数)	3	3	7	4	3	3	8	8	58	14	3	0	114

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

きずなでのコミュニケーション、食事準備、片付けなど、ポーラさん

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

三味線演奏、きずなバザー、住小中学校吹奏楽部、大阪市立大学よさこいサークル（朱蘭）、紙芝居など

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

・2019年度の計画として、きずなには日常で決まったレクリエーションの予定がないため、レクリエーション等のボランティアさんにも来ていただくというのが計画として挙がっていました。

⇒2019年度は、前年度より引き続き来て下さっているボランティアさんに加え、紙芝居ボランティア「ひまわり」さんが新しく増えました。「ひまわり」さんは、きずな職員の紹介で、紙芝居や歌を披露してくださいます。紙芝居は、数ヶ月前から絵を描き、1枚1枚丁寧に手作りして下さっています。歌は、ウクレレを弾き語りながら利用者さんの懐かしい歌だったり、童謡などとても楽しく歌い盛り上げて下さっています。前回は四葉のクローバーを押し花にして、きずなの利用者さん、職員一人ひとりへ作成しプレゼントして下さいました。

定期的に来て下さるポーラさん（ハンドマッサージ）も、特に女性の利用者さんから好評です。

○課題・成果等

- ・2019年度も、91名のボランティアさんに参加していただきました。きずなのバザーや季節ごとの各イベントで来て下さったボランティアさん等、たくさんのボランティアさんに支えられました。
- ・毎週日曜日に来て下さるボランティアさんは、食事の準備、利用者さんの食事介助、お掃除や食器洗い、片付けまでいつも一生懸命取り組んで下さっています。本当にボランティアさんとは思えないパワーの持ち主で助かります。
- ・2019年度より、初めてボランティア委員となり、初めは分からないことだらけでしたが、会議に出て話をするうちに、他の部署のことやボランティアさんが活動する目的、意義を知ることができました。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

- ・いつも来て下さっているボランティアさんにも引き続き来ていただけたらと思います。
- ・職員の紹介で新しいボランティアさんが増えたように、知り合いの方からでも、身近なところからも声掛けしていただき、きずなで楽しく活動できるボランティアさんを今年度も募集しようと思っています。
- ・健康で怪我の無いように、取り組んでいただけるように努めたいと考えます。

【 じらふデイ 】 担当者：豊島 部署責任者：高橋（朋）

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	2	5	0	2	10	3	2	1	4	1	1	0	31
活動者 (延数)	2	5	0	2	21	3	3	1	4	1	1	0	43

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

通常活動に毎月1日、Sさんが参加。

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

2019年8月じらふデイキャンプ、12月じらふデイギャングスター・おうちにサンタがやってくる

2020年2月 卒業パーティー(コロナウイルスの為、参加者へお断りする)

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

現在アルバイト勤務されている方で新規の登録があった。次年度も登録継続して頂いている。
大学への広報や、現在の学生アルバイトから知り合いに呼びかけてもらうが、新規登録者には繋がらなかった。9月に法人の他部署に所属されていた方で新規登録に繋がり、定期的なボランティア活動への参加となっていたが、11月頃から連絡がつかずである。

ボランティア募集に向けての大まかな年間計画は作成できていない。

○課題・成果等

デイキャンプによって、新規登録者獲得には繋がっているが、継続されていない。
登録継続にむけて、定期的なボランティア募集をすることや、体験時に「またしたい」と思ってもらえるような経験に繋がるようにする必要がある。新規登録者の大半が、現在のアルバイトや、過去のスタッフである為、外部からの登録者獲得に向けて、募集広報についても見直しが必要である。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

現在アルバイト勤務されている方や以前じらふで勤務していた方が、ボランティアとして企画へ参加してくれていることがほとんどで、外部からの参加は少なかった。その中でも外部から参加してくれるボランティアさんへ、積極的なアプローチをし、様々な企画への参加に繋げたい。

期待すること？

利用者との関わりを楽しむ。危機管理（見失いや紛失）。継続的に参加してくれる方。

【 総セン通所／オガリ（生活介護） 】 担当者：磯口 部署責任者：重野

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	4	7	5	5	4	5	3	3	4	3	3	0	46
活動者 (延数)	4	8	5	5	6	5	3	3	4	3	3	0	49

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

ハンドマッサージ・エアロビクス

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

辻調理師専門学校

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

ハンドマッサージのボランティアの方は、毎月来てくださり、メンバーさんとも丁寧に関わってくださった。又メンバーもボランティアの方に慣れており、毎月の関わりを楽しみにされていた。

今年度は、初めて総センの家族会にも参加して頂き、ご家族とメンバーさんのマッサージをしつつ、ご家族の愚痴等も聞いてくださり、好評だった。

エアロビのボランティアの方は、用事や体調不良で欠席されることが多く、6回しか実施できなかった。

○課題・成果等

ハンドマッサージのボランティアの方が来ていない時でも、スタッフがハンドマッサージや足浴をする時間が増え、メンバーさんもリラックスして過ごしていた。また手足の傷がないか等の状態も確認する機会が増えたのでよかったと思う。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

例年、全員を対象とした取り組みのお手伝いにボランティアの方に来て頂くことが多かったが、今後は、対象のメンバーを絞って、そのメンバーに向けた取り組みに来て頂けるボランティアの方も募集していきたい。ボランティアさんの都合がつかず、総センにきていただくことが多かったので、来年度はオガリに来て頂く機会も増やしたい。

【 総セン通所／オガリ（就労継続B型） 】 担当者：阿部 部署責任者：阿部

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
活動者 (延数)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

パンプやコブンカフェにおけるご利用者さんの調理、接客、会計等のサポート及びアドバイス等

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

飲食に関わる専門学生といった当該部署の活動とマッチしたボランティアさんの受け入れによって店舗営業のフォローに大いに繋がりました。喫茶スペースでのパフォーマンス等に関しましては実現に至りませんでした。時期の実施に向けて具体的な構想を練りたいと考えています。

○課題・成果等

飲食業であったり社外マニュアルの漏洩防止等の観点もあり、なかなか受け入れの実施に至っていない部署もございましたが、飲食を取り扱う専門学校から授業の一環としての受け入れが出来たことが成果と捉えております。当該部署の活動と飲食を取り扱う専門学校生といったマッチングが非常に良い効果を生み、調理技術や知識の向上、働く意欲向上等、現場及びご利用者さんにも波及致しました。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

パフォーマンスボランティアさんを受け入れていきたいと考えております。ご利用者さんとのレクリエーションとして又は店舗運営におけるお客様集客等にも活かさせて頂きたいと構想しております。

【 障がいグループホーム 】 担当者：岩井 部署責任者：今村

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
活動者 (延数)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

フルート演奏

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

今年度のボランティア人数は1名のみでありました。来年度は企画開催が決まり次第、ボランティア募集をしていきたいと思っております。

○課題・成果等

今年度のボランティア人数は、12月の企画に1名のみ（楽器演奏）でありました。楽器演奏はメンバーさんも一緒に楽しまれておられました。楽器演奏をはじめてみるメンバーさんもいて良い機会になったと思われました。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

来年度はボランティアを通して、GH のことやメンバーさんのことを知って頂けたらと思っております。また、メンバーさんもたくさんの人と関わる機会になればと思っております。

【 ららら 】 担当者：大橋 部署責任者：高橋（爾）

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	2	0	3	3	3	2	0	2	0	0	0	0	15

活動者 (延数)	3	0	3	3	3	2	0	2	0	0	0	0	16
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

らふらにてハギレの裁断や、るーぶ班手芸の仕上げ(羊毛玉作り等)

通称：手芸ガールズ

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

イベント出店時の手伝い(店番、商品案内等)

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

「外部販売でのボランティア参加」という計画を上げており、上半期は地元の「さくらまつり」や「すみすみマルシェ」での販売補助でボランティア参加があったが、下半期は手芸ガールズを主にした通常活動が中心であった。

○課題・成果等

成果：らふらでは縫製作業に移る前のハギレが大量にあり、裁断作業に大変時間がかかる。その部分の作業を手伝っていただけたことでスムーズな縫製作業にとりかかる事ができた。

ボランティアに来られていた学生の方が受験の面接の際に自己アピールポイントとしてらふらでの体験を挙げられた。ご本人にとっても有意義な活動の時間になれたのではと思う。

ボランティアをされた2名の学生さん共に次年度のボランティアの継続を希望された。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

・手芸ガールズの活動継続。①るーぶ班の手芸作業の手伝い。場所はらふらにて実施する。るーぶ班が土日休みである為と、ボランティアを通して参加者同士の交流も目的としている為。また、8～9月頃になるーぶ班はギャラリーを企画しており、そこに向けての手伝いという形がボランティアにとっても貢献の形が分かりやすいと思われる。②縫製作業の準備(ハギレ切り)

・縫製班メンバーより「日々の活動の中で楽しみが欲しい」と希望がある。縫製班の人数と性格的に班内だけで企画することに限界がある為、手芸ガールズと一緒に活動する選択肢を考えていきたい(例：らふらでお菓子作り体験等。何をするかも一緒に検討してみたい)。

【 ころの相談ネットふうが 】 担当者：崎本 部署責任者：松岡

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	2	4	4	2	3	5	5	5	7	3	4	0	44
活動者 (延数)	5	5	10	3	8	7	5	5	7	3	4	0	62

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

サロンを利用するメンバーとのコミュニケーション、書道や韓国語講座等のプログラム運営、精神科病院長期入院患者の退院促進に向けての伴走支援等

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

ティパーティーやクリスマス会等イベントでの運営補助（会場準備や調理補助、参加者交流など）

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

「精神疾患という外見では分かりにくい病気や障がいの理解から、学校や仕事等の様々な人間関係・社会生活の中で生きづらさを抱える課題背景に思いをはせ、メンバーの悩み・葛藤を受けとめる良きパートナー、理解者をめざす」という目標を掲げていたが、介護ケアを主とした利用者の他事業所通所に伴い、その利用者に関わるボランティアがふうがでの活動を終了…他メンバーとの交流やサロンでの認知度は十分にあったが、当該ボランティアのやりがいや役割を発揮する活動内容を提示することが出来なかった。

○課題・成果等

毎月書道を教えに来て下さる 90 代のボランティアから、参加者が少ない、せっかく準備したお手本が活かされない…等ボランティア登録の更新をすべきかどうか悩んでいるという相談を受けた。また、今年度より新たに登録、参画されたボランティアの韓国語講座でもフィールドワーク当日の参加者 0 人…ということがあり、障がい特性故の心身の不調や一定の時間参加することの難しさが、ボランティアへのフォローアップや思いを活かしきれない課題を痛感する。

一方、精神科病院の長期入院患者に対する退院促進では、元ピアサポーターのメンバーがボランティアとして伴走支援に関わり、当事者ならではの思いの共有や実体験にもとづく語りは入院患者のエンパワメントにつながり、退院実現に大きな貢献を果たしたと言える。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

上記のとおり、精神障がいのあるメンバーとボランティアの交流を深める活動メニューの提示やマッチングの難しさはあるが、精神障がい者に対する差別・偏見をなくし、地域の一員として共に生きる良きパートナー・理解者を増やすことにボランティアの受け入れ意義があることは変わらない。昨年度からの継続案になるが、①ボランティアを含め、職場体験・学校の授業（フィールドワーク等）、実習等を積極的に受け入れ、「出会いの機会」をつくる ②メンバーとボランティア等が交流・コミュニケーションしやすい「活動内容・役割」をつくる ③メンバーのしんどさ、ボランティア参加の意義を伝える「オリエンテーションと振り返り」の充実を図る ④地域移行等の退院促進や英会話教室の講師、各種研修での当事者の語り等の「ピア活動」の展開…を基本計画に実践していく。

【 ごはん倶楽部 】 担当者：辻（CSW）・森（オガリ） 部署責任者：上田

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	2	2	2	2	2	2	2	17	2	2	2	0	37
活動者 (延数)	2	2	2	2	2	2	2	17	2	2	2	0	37

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

食事づくり

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

大阪人間科学大学の学生に授業の一環で参加いただき、地域支援や障がい者との関わりなどを知っていただけた。毎回参加していただいている方に継続して来ていただくことができた。

○課題・成果等

同年代の大学生とつみき利用者が好きな歌手の話など支援者・利用者ではない<ふつうの>話をして笑いあっていたり、大学生の感想で「障害者は何もできないと思っていたができることが多くて驚いた」「手伝わなければと思っていたけど、何もせずただ楽しかった。」などの発見が書かれていた。「障害者、ではなく、「〇〇さん、として出会う福祉教育の場にもなっている。

現在、参加されているボランティアさんが固定されており、学生などは授業として参加している。多様なボランティアが参加できるような仕組みも必要ではないか。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

手伝うとかしてあげるではなく、「一緒にする、ボランティアさんが参加してくれるとうれしいです。

【 住吉区北地域包括支援センター 】 担当者：奥谷 部署責任者：東

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	12	14	5	9	4	6	5	4	7	6	4	0	76
活動者 (延数)	12	14	5	9	4	6	5	4	7	6	4	0	76

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

企画への参加・手伝い、チラシの作成・配布、会場セッティング
体操のレクチャー、健康講座 等

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

体操のレクチャー、健康講座 等
クイズ

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

参加の少ない地域行事に関して、地域の方にもお声をかけ、告知・広報をしていただくことにご協力いただくことができた。また、長く企画を継続していると、興味を持って参加された方が、周りの方を気にしてくださっていたり、片付けや参加のお声かけのお手伝いをしてくださったりされる様子もあった。ボランティア、という役割を持って参加されていない方であるが、取り組まれていることがボランティア活動につながる場づくりをすることができたのではないかと考える。

○課題・成果等

ボランティア活動がしたい！と思い、参加される方にとっては、現状の場は物足りなさであったり、やりがい不足につながる可能性がある。ボランティアとしての役割作りは引き続きの課題であると考え。今後もボランティアの方を継続して募集し、ボランティアとして活動してくださる方と一緒に役割作りが出来ればと考える。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

- ①参加して頂ける場でのボランティアの役割作り
- ②参加して頂いている場のチラシづくりや広報、口コミ等のお手伝い
- ③地域の方にとってよりよい生活につながることを発信してくださる方の参加

長居・山之内エリア

【 生活訓練つみき 】 担当者：金本 部署責任者：南

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	0	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	0	6
活動者 (延数)	0	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	0	6

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

8月はプール企画に利用者さん対応として来てくださっている。9月は1泊2日の旅行でメンバー対応として来てくださっている。三重県の鳥羽市のほうへ行く。12月はクリスマス会のマジックショーをつみきにきてやっていただく。

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

今年は旅行以外にもボランティアさんがきてくださる機会をつくることができた。ボランティアさんと交流することで、利用者さんの表情も生き生きされており、積極的にコミュニケーションをとりに行く場面が多く見られた。

また桃山学院大学の大学生だけでなく、関西学院大学の大学生や社会人や高齢者のボランティアも参加してくださることがあったので、ボランティアの層も幅が広がってきているように感じた。次年度も引き続き、広報を進めて行きながら、ボランティアさんの受け入れを積極的に受け入れていきたい。

○課題・成果等

日常的な活動の場において、ボランティアさんの募集はしているものの、希望者の連絡はない。これは広報のあり方や取り組んでもらう内容が明確になっていないからだと考えられる。

また日常的な活動の場では、パートスタッフがいるため、ボランティアさんにやっていただく内容が不明瞭な点もみられる。なにより大学生のボランティアと大学生のパートという形で日常的な活動で一緒になったときの差別化が難しい点も挙げられるだろう。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

ボランティアさんがつみきにきて、「あ！こういうところで働いてみたいな」と思えるような環境を整備していくこと目標に掲げたい。具体的な計画案は以下の通り。

○パートスタッフの業務とボランティアの役割の明確化。

○日常生活から笑顔で明るく挨拶する！

○フェイスブック等によるボランティア受け入れの発信。

上記のことを丁寧に取り組んでいくなかで、ボランティアさんが活動に参加して「めっちゃ楽しい！」と思えるよう職員一人ひとりも楽しんで仕事をすることを心がけていきたい。

【 コロたま倶楽部 】 担当者：巽 部署責任者：勝部

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	6	7	6	8	5	5	7	8	11	11	9	7	90

活動者 (延数)	12	9	10	11	7	8	10	10	14	14	18	11	134
-------------	----	---	----	----	---	---	----	----	----	----	----	----	-----

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

区役所販売、傾聴、訪問交流会

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

あいあいあい祭、文化フェスティバル

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

計画：施設からボランティアに期待したいこと、ボランティアの取り組まれている思いが必ずしも一致していない為、メンバーとボランティアが協働して何か形にすることをし、施設側の意向を伝えていきたいと考える。

評価：毎月行なわれるボランティア定例会に参加させていただき、ボランティアメンバーとの交流やより良い関係性の構築を図り、ボランティア側の思いの聞き取り、施設側の意向を伝える取り組みを行なった。

○課題・成果等

本年度はボランティアとの関係性構築を中心に取り組むことが出来た。区役所販売、イベント販売等販売サポートを中心にメンバーに関わっていただいていたが、11月より月に1回コロたま訪問交流会を開始した。喫茶店メンバーや内職メンバーとの交流、販売以外でのメンバーの様子や活動を知っていただくことを目標に取り組むことが出来た。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

今後もボランティアとのより良い関係性作りを図り、ボランティアと協働しメンバーとボランティアが楽しく関われるきっかけ作りを行なう。

大領エリア

【 であい認知症グループホーム&小規模多機能 】 担当者：栗山 部署責任者：山内

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	5	5	5	13	6	4	2	6	5	3	3	0	57
活動者 (延数)	5	5	5	13	6	4	2	6	5	3	3	0	57

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

オレンジカフェの喫茶お手伝い

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

オレンジカフェにおけるイベント

流しそうめんのお手伝い、であい感謝祭のお手伝い

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

入居者さんには積極的にオレンジカフェに参加して頂いておりますが、その中で参加されているボランティアさんともっと関わることが出来、ボランティアさんと顔馴染みの関係が作れたら良かったのではないかと考えます。

○課題・成果等

オレンジカフェや流しそうめん、であい感謝祭との企画事にも参加して下さい、地域の方と関わる機会が増えているのではないかと思います。

ボランティアさんと入居者さんの関わりも大事だが、職員もボランティアさんと関わり、入居者さんとボランティアさんが関わりやすい環境を作ればと考えます。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

入居者さんとボランティアさんが気軽に交流出来る関わり合いが出来ればと思います。又、企画の際にも入居者さんと一緒に企画を楽しめればと考えます。

【 るーぶ班 】 担当者：藤田 部署責任者：慶元

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	0	14
活動者 (延数)	0	2	2	5	1	2	2	2	1	2	3	0	21

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

なごみ喫茶・さをり縫製

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

今年度も引き続き商品制作の M さんが活動してくださり、るーぶアートギャラリーに向けての商品制作等に携わっていただきました。また新たに月に 2 回なごみ喫茶の接客等のボランティアとして Y さんが来てくださいました。企画に参加してくださるボランティアの方をお呼びすることは出来ませんでした。通常活動のボランティアとして大学生の方が来てくださいました。ただ、ボランティアの方の通常活動に参加された感想はお聞きできていません。

○課題・成果等

今年度は新たなボランティアの方に来ていただくことが出来ましたが、どっこい券の配布が出来ていなかったりと対応に不備がありました。

また、通常活動のボランティアとして来ていただいた際に、どのようにメンバーさんに関わってもらうのか等が今後の課題となりました。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

次年度も引き続き、M さんと Y さんには活動していただきたいと思っています。また、新たにるーぶアートギャラリーに向けて商品制作をしてくださる方、店番や呼び込みをしてくださる方に来ていただけたらと思っています。その他、通常活動の中でメンバーさんと楽しく一緒に過ごしてくださる方にも来て頂きたいと思っています。

【 大領 COCORO 】 担当者：大西 部署責任者：中野

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	2	0	2	5	1	1	1	2	5	3	3	0	25
活動者 (延数)	2	0	2	5	1	1	1	2	5	3	4	0	26

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

アロマハンドマッサージ（月 1 回、第 1 水曜日）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

クリスマス会での演奏（マリンバ&キーボード）、新年会での演奏（フルート）

外出企画、クリスマス会、日中活動

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

- ・アロマハンドマッサージは定期的に継続できている。3 月のみ、コロナウイルス感染拡大の影響で休止。
- ・イベント時、演奏のボランティアさんに来ていただいた。

・計画に挙げていた体操系のボランティアさんは受け入れ出来ず。

○課題・成果等

- ・アロマハンドマッサージは、水曜日通所のひなた班メンバー全員と、つなぐ班メンバー数名（希望者）が受けている。つなぐ班の参加者は、固定で毎回希望する人もいる。
- ・イベント時のボランティアさんの演奏には、メンバーも喜んでいました様子。各回とも、メンバーと一緒に鈴やマラカスと一緒に演奏できるようなプログラムを考えてくださり、大変盛り上がった。
- ・外出企画、クリスマス会、日中活動で計3回、退職した職員がボランティアで来てくださることがあった。職員体制の厳しい時期に手伝いに来てくださり、現場がとても助かった。
- ・課題として、12月に1度、あるボランティアさんをお断りしてしまったできことが挙げられる。部署から曖昧な形で募集をかけてしまったことが要因。

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

- ・アロマハンドマッサージは今後も継続していきたい。
- ・イベント時（クリスマス会、新年会等）には、来年度も演芸系ボランティアさんを募集したい。
- ・「身体を動かしたい」ニーズがあるメンバーが多く在籍するなか、PTの後任も未だ見つかっていない。普段の体操系プログラムの幅を広げるためにも、体操系のボランティアさんを引き続き募集していきたい。
- ・ボランティアさんに、明確に「これをやってほしい」と部署からはっきりと発信していく。

泉北エリア

【 じらふ泉北 】 担当者：森 部署責任者：森

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	6
活動者 (延数)	0	0	0	1	3	1	2	0	0	0	0	0	7

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

夏休み、土曜日（利用者が一日の利用日）においての、メンバーさんの買い物付き添いや見守り援助、おやつ作りの補助、一緒に遊びやコミュニケーションの相手など

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

◇2019 年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

・堺市社協主催の「夏のボランティア体験」に今年度も参加し、広くボランティアを募集したい(2019 年計画案)

⇒(評価) 予定通り、「夏のボランティア体験」に参加。合計で 3 名のエントリーがあった。2018 年のように、その後も継続してボランティアに来られる方には繋がらなかったが、様々な目的の方…ご自身の研究(学生)に関する知識を深める、ご自身の仕事に生かすなど…にじらふを知って頂くことができたと思う。

・秋にじらふ主催のイベントを企画したいと考えている。その際には PV さんにお越しいただけるよう検討(2019 年計画案)

⇒(評価) イベント（じらふ泉北同窓会）をしたいと年間計画にも挙げて、企画書にも着手していたが、後回しになって開催機会をのがしてしまった事と、場所の問題などの解決もできずイベント開催ができなかった。

○課題・成果等

・2019 年総括に記載のとおり、堺市南区の社会福祉協議会の窓口担当者との意見の相違から、ボランティア受け入れの事業所登録をはずしており、社協を通じてのボラ受け入れがなくなった為、広くボラ募集をできる場所が現在は「夏のボランティア体験」のみとなっている。じらふ・泉北を管轄している堺市子ども家庭課は、ボランティア受け入れにあたっても類を見ない非常に厳しい条件を出しており（例：契約書を交わす、ボランティアは利用児に一切ふれてはならないという誓約書を書かせる、など）、それもボランティア受け入れに二の足を踏む足枷状態となっている。法人としてのボランティア受け入れの体制整備等訴えてはいるところではあるが役所との考えかたの相違が非常な困難課題と思われる。

・実際のボラ活動には至らなかったものの、学校の課題として取り上げたいという学生のチームが見学を訪れてくれることもあり、障がい児支援について、もっと社会的な意識が広まれば…と望まれる。

◇2020 年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

・2020 年も、引き続き堺市社協主催の「夏のボランティア体験」に参加し、広くボランティアを募集したい。

【 るびなす 】 担当者：藤田

◇ボランティア受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動者 (実数)													
活動者 (延数)													

◇主な活動内容

○継続分（日常的な活動）

○単発分（演芸等パフォーマンス系）

◇2019年度総括（課題・成果等）

○計画に対する評価

○課題・成果等

◇2020年度計画案（ボランティアに期待すること、協働したいこと等）

<2019年度 部署別年間活動者数>

	活動者 実数	活動者 延数
特養なごみ	89	498
なごみデイ	92	382
きずな	91	114
じらふデイ	31	43
総セン通所・オガリ(生活介護)	46	49
総セン通所・オガリ(就B)	3	3
障がいGH	1	1
らふら	15	16
ふうが	44	62
ごはん倶楽部	37	37
北包括	76	76
つみき	6	6
コロたま	90	134
であいGH・小規模	57	57
るーぶ	14	21
COCORO	25	26
じらふ泉北	6	7
るびなす	?	?
合計	723	1532

